



TOTO

ソケット取替ユニット (リモデル)

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

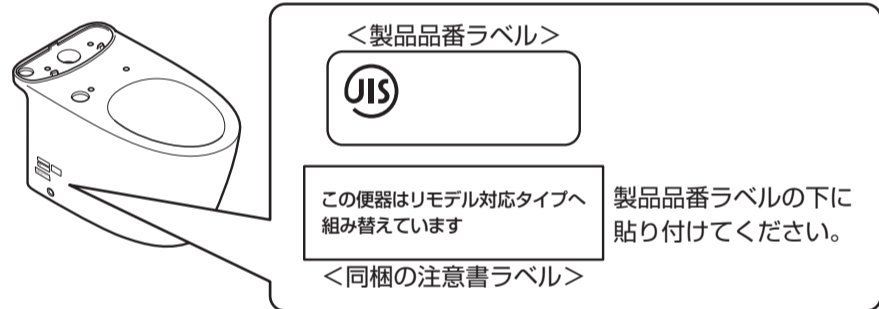
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

		は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。			は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--------------------------------------	--	--	---

注意	
	禁止 便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

●同梱の注意書ラベルを製品に貼り付けてください。



同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

HH02111の同梱部品

排水アジャスター	固定金具類	Pシール	その他
 便器接続部 (1個) ※ゴムジョイント付き 横引管 (1個)	 Tボルト (2本) ねじ (便器接続部用) (φ5×50:2本)	 金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)	 施工説明書 (1部) 位置決めシート (1部) 注意書ラベル (1部)

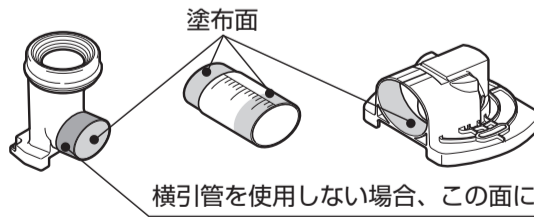
便器の同梱部品

便器本体	排水ソケット	固定金具類
 便器本体 (1個) 便器ヒーター用プラグ ※ヒーター付便器の場合	 排水ソケット (1個) ※ゴムジョイント付き	 ねじ(便器用) (φ5.8×75:2本) ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:3本) 化粧キャップ(2個)
固定片	その他	
 前固定片(1個) 接着ブロック(1個) ねじ(前固定片用) (φ5×40:2本) ねじ(横固定片用) (φ5×50:4本) 横固定片(2個)	 施工説明書 (1部) 位置決めシート(1部)	

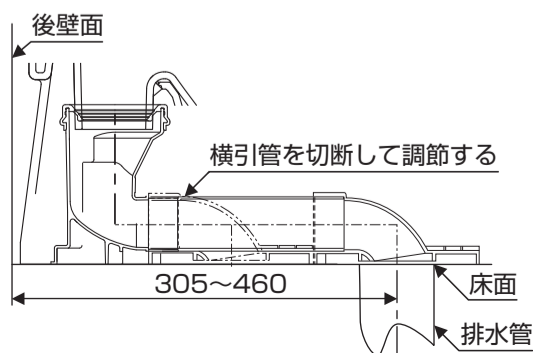
の部分は破棄してください。

取り付け前のご注意

- 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 施工前に給水管取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります。
- 施工前には、埋設されている給水管などの破損を防止するため、位置を確認してください。
- 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力は25Wです。
- 便器(ヒーター付の場合):電源コードの長さは、約1.1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 便器洗浄付のウォシュレット、またはリモコン便器洗浄ユニットを設置する場合は、必ず専用用品を選定してください。
- 専用用品以外の場合、便器洗浄機能が正常に作動しません。
詳しくは、住宅&パブリックカタログ、専用カタログをご確認ください。
商品セット図は、住宅&パブリックカタログ、専用カタログをご確認ください。
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060(φ8、10個1組)」を別途手配してください。
- 排水アジャスターを組み立てる際は、塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、突き当たるまで、きちんと差し込んでください。水漏れのおそれがあります。
- 商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



- 排水心の確認
横引管を排水心にあわせて切断し、塩ビ接着剤で確実に接続してください。
※排水心305mmの場合、横引管は不要です。



- 既設腰掛便器をおすすめ便器に取り替える際の、排水心・便器跡の有無・便器前出のイメージが確認できます。

情報を見る

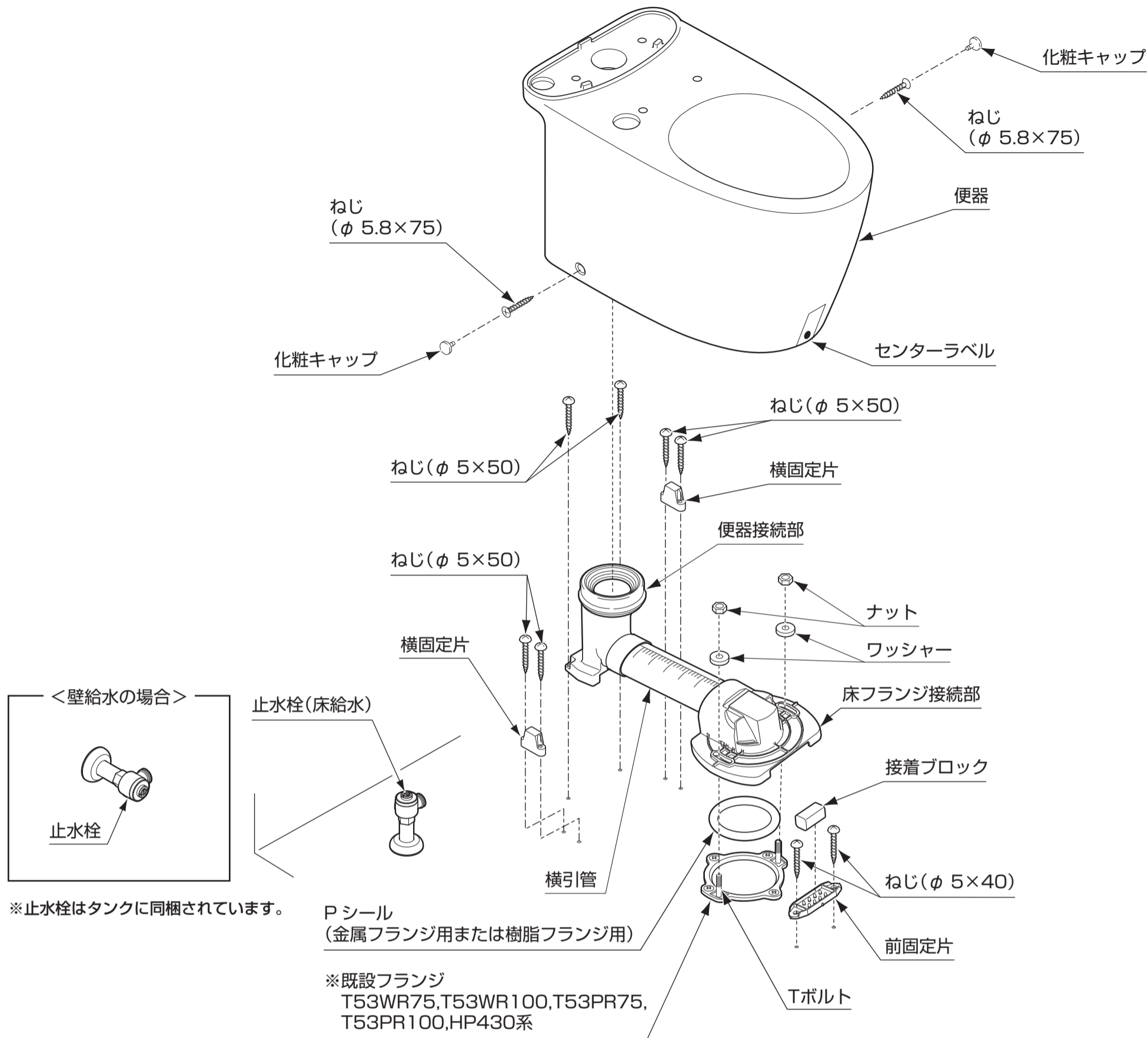
見つかるくん

<https://www-s.jp.toto.com/com-et/jp/page/torikae/mitsukarukun/>

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

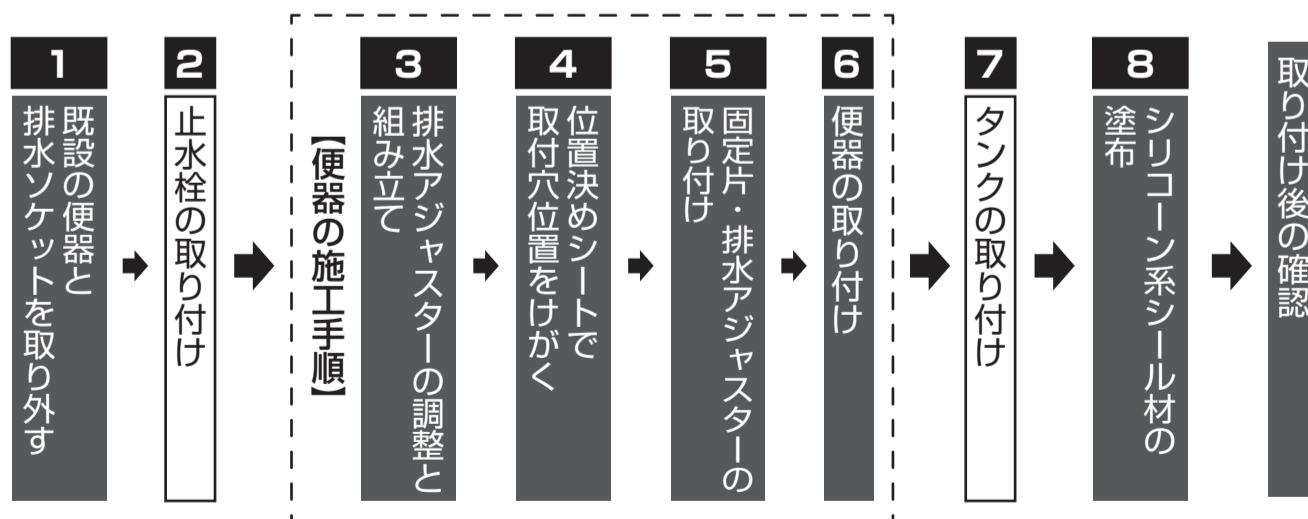


各部のなまえ



施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。(は本紙、 はタンクの施工説明書を参照ください)



取付方法

1 既設の便器と排水ソケットを取り外す

- 1 既設の便器と排水ソケットを取り外す。
- 2 既設フランジに取り付いているPシールの接着剤を全て取り除く。
- 3 既設フランジの中心線を床にけがく。
※鉛筆などあとで消せるもので、けがいてください。

2 止水栓の取り付け

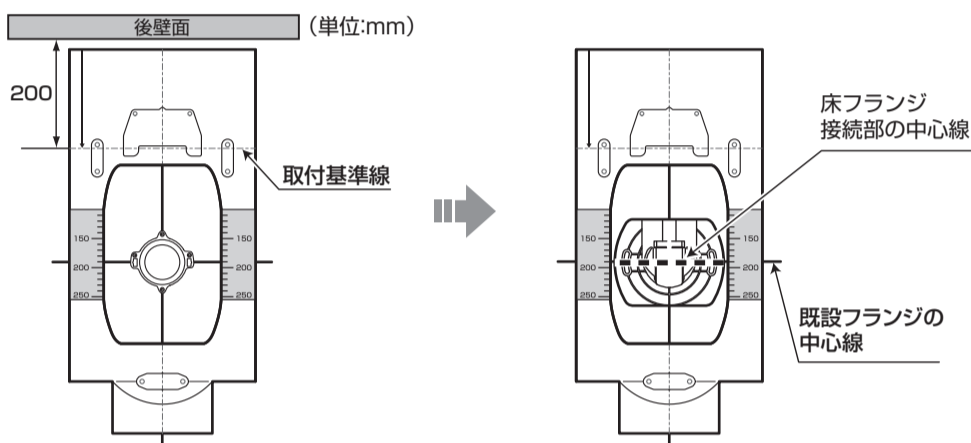
タンク同梱の施工説明書に従い、止水栓を取り付ける。

3 排水アジャスターの調整と組み立て

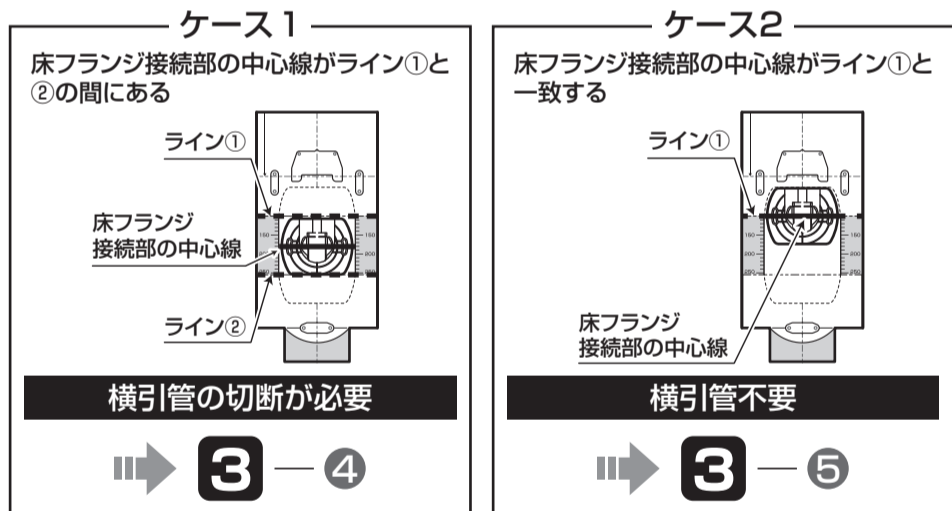
- 1 位置決めシートを広げ、後壁面から200 mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。

※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。
※寸法だけは後壁から行ってください。(幅木からではありません)

- 2 既設フランジの中心線と床フランジ接続部の中心線が合うようにあわせ、床フランジ接続部を仮置きする。



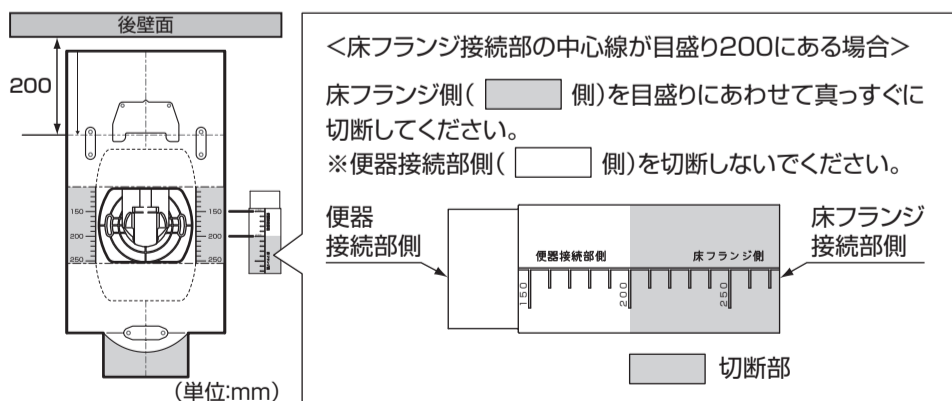
- 3 横引管の取付方法が床フランジ接続部の中心線の位置で異なるため、下図に従って床フランジ接続部の中心線の位置を確認する。



<ケース1の場合> 横引管の切断が必要

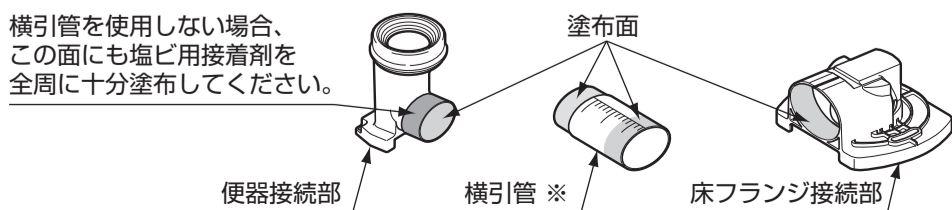
- 4 位置決めシートと同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する。

※切断後、端部のバリを完全に除去してください。
※排水心460 mmの場合でも横引管の切断が必要です。
※切断しないまま接着すると、便器と床フランジが干渉します。



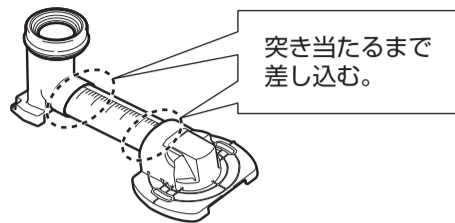
- 5 塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、各中心をあわせるように排水アジャスターを組み立てる。

※床フランジ接続部の中心線がライン①と一致する場合は、横引管不要。

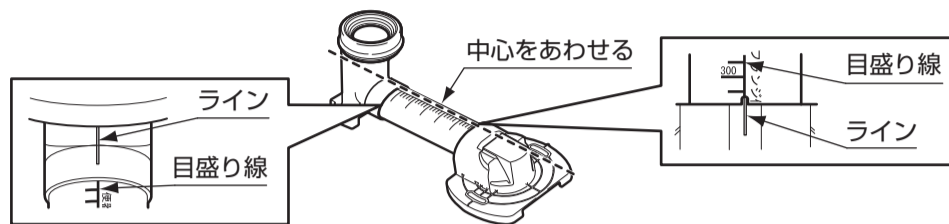


3 排水アジャスターの調整と組み立て

- 6 突き当たるまで差し込む。



- 7 各ラインを目盛り線と合わせる。



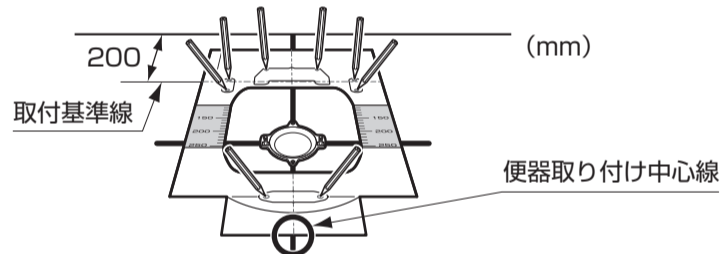
注意

必ず実行 横引管は突き当たるまで、きちんと差し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

4 位置決めシートで取付穴位置をけがく

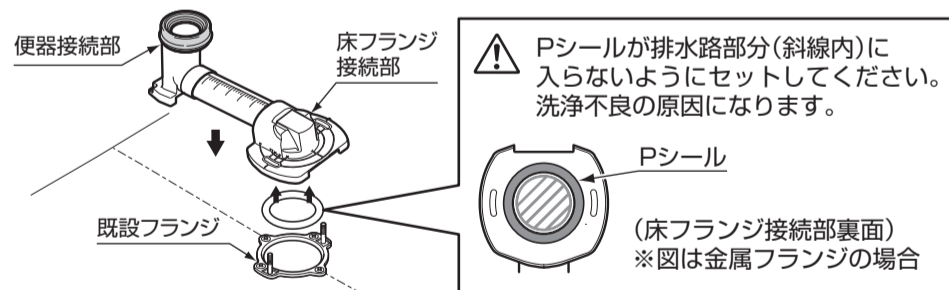
- 1 後壁面から200 mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。
- 2 前固定片取付穴位置(2カ所)、横固定片取付穴位置(4カ所)、排水アジャスター取付穴位置(2カ所)をけがく。
- 3 便器取り付け中心線の印があるか確認してください。
ない場合は、鉛筆など(あとで消せるもの)で便器取り付け中心線に印をつける。
- 4 けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



5 固定片・排水アジャスターの取り付け

- 1 <樹脂フランジの場合> Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
<金属フランジの場合> Pシール(金属フランジ用)を床フランジ接続部にセットする。

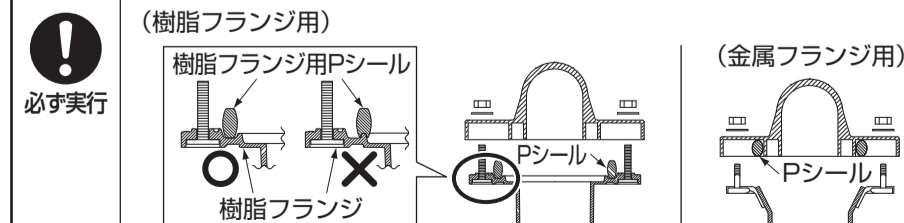
気温が下がるとPシールが固くなる場合があります。
このときは、Pシールをあたためて柔らかくしてからご使用ください。



注意

Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱(再取り付け時は同品番)の金属フランジ用Pシール(補修品番: TH633)または、樹脂フランジ用Pシール(補修品番: TH633-3)を使用する
 - 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する
- Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

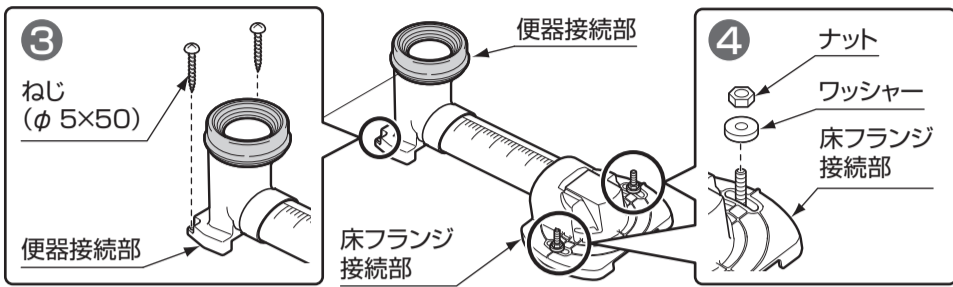


- Pシールは溝にきちんと取り付けてください。
- 取り付けした便器を取り外したり動かした場合は、新しいPシールを使用する
新しいPシールを使用しない場合、漏水するおそれがあります。

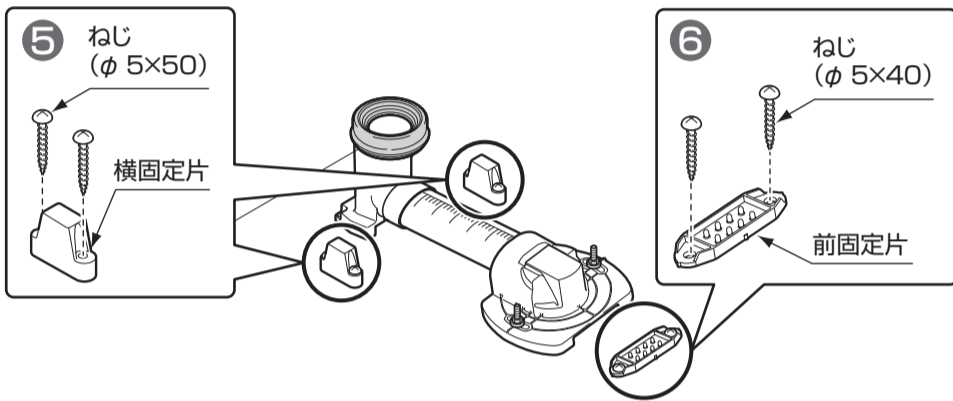
取付方法

5 固定片・排水アジャスターの取り付け

- 床フランジ接続部を床フランジに押し付ける。
※床面に対してガタツキがないように接着してください。
- 便器接続部の取付穴(2カ所)にねじをセットし、床(2カ所)に固定する。
- 床フランジ接続部を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。

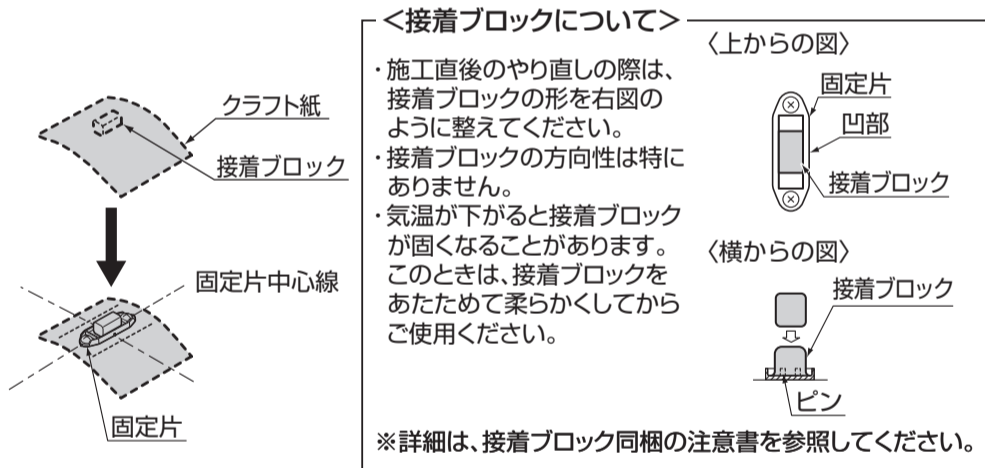


- 横固定片の取付穴(4カ所)をねじで床(4カ所)に固定する。
- 前固定片の取付穴(2カ所)を中心線にあわせて、ねじで床(2カ所)に固定する。

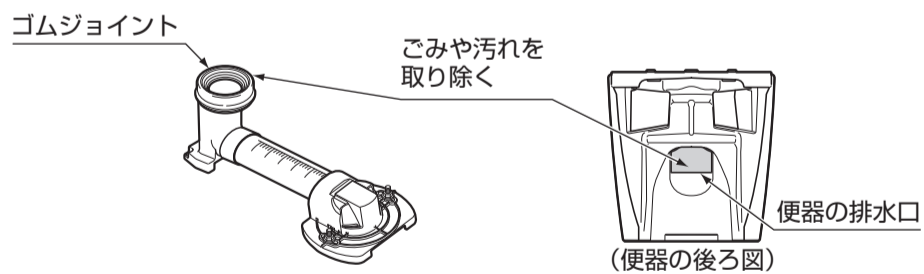


6 便器の取り付け

- 接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。

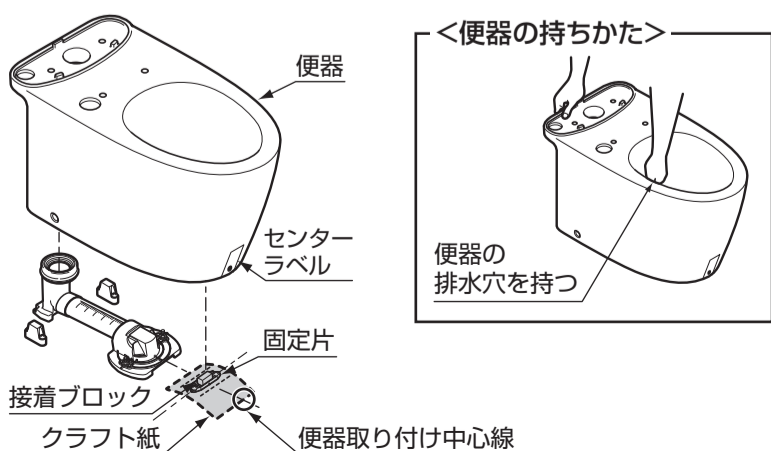


- 便器の排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



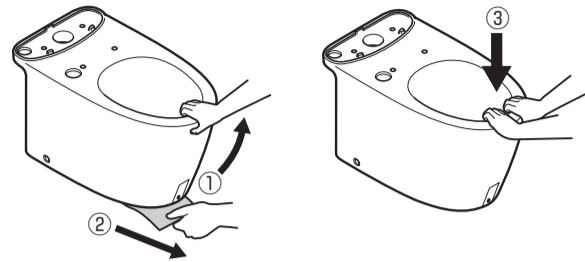
- 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

- センターラベルを床にけがいた便器取り付け中心線に合わせて便器の位置を微調整する。



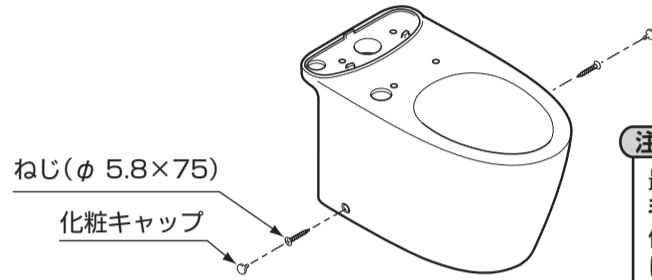
6 便器の取り付け

- 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

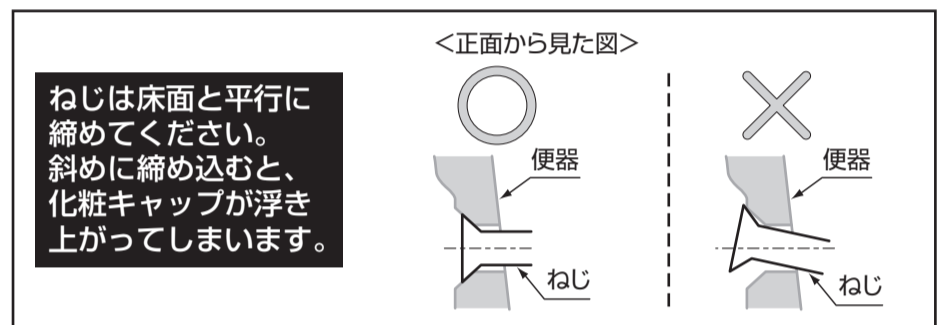


注意
・センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。
・位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
・便器が床につくまでしっかり押さえてください。

- 便器の取り付け穴(2カ所)をねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。
ねじが確実に締まっていることを確認してください。



注意
最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

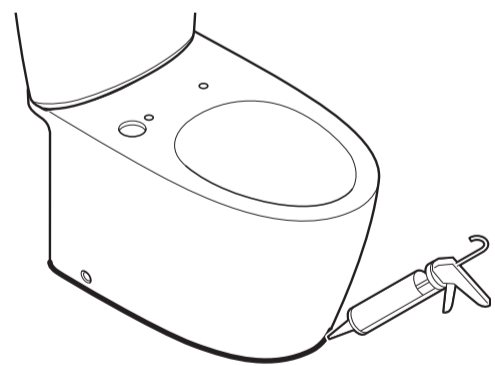


7 タンクの取り付け

タンク同梱の施工説明書に従い、タンクを取り付ける。

8 シリコン系シール材の塗布

- シリコン系シール材を塗布する。
トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材を塗布することをおすすめいたします。



取り付け後の確認

- ・試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。